



主題名

自分や友達のがんばりに目を向けよう

教材名

アイ・メッセージ ～運動会を終えて～

(参考資料:八巻寛治・平野修 編著「エンカウンターで学級づくり12か月」明治図書 62～63ページより)

人権学習の視点

普遍的な視点「自尊感情」

主題・教材について



集団の中に安心できる居場所を感じとり、周囲から認められることは、自尊感情を高める上で大きな土台となる。ここでは、「わたしは…思うよ」と気持ちを伝える「アイ・メッセージ」という方法を使って、運動会という大きな行事を友達へ温かな目を向ける集団体験の場としてとらえさせる。そして、存在を認められる心地よさを感じとらせるとともに、個々のよさを大切にしていくな心情を養いたい。

ねらい

友達から認められることで、自分や友達の存在を感じ、自他を大切に思う気持ちを育てる。

本時の展開

(※事前準備)運動会の約一週間前から終わりの会等で、練習や活動を通じて感じた班のメンバーのよさを、相手には分からないようにメッセージカードを回して書き込んでおく。(友達の色々な面を見付けられるよう声かけする)

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○運動会やそれまでの取組でがんばったみんなの様子を伝え、感想を発表させる。 ○本時の課題を知らせる。	一斉	○教師の感想をもとに、運動会の感想を発表する。 児童別のメッセージカードをランダムに配布し、カードを参考にしながら、その相手へのメッセージを書いて仕上げ、友達に届ける。	○一生懸命がんばる姿や、支えあって協力する姿など肯定的な感想を伝える。	事前に書き込みを進めたメッセージカード 資料「アイ・メッセージ」
	「アイ・メッセージ」を完成させて届けよう				
展開	○準備物を配布し、メッセージカードを制作させる。 「アイ・メッセージを完成させよう」 1. 配られたメッセージカードを読んで、その友達のがんばりを思い出す。 2. 自分からのメッセージを書く。 3. 色画用紙を台紙にしてメッセージカードを完成させる。	個別	○友達へのメッセージを書き、カードを完成する。  ○○さんへ 運動会 がんばったね ほかの人からのアイメッセージ 仕上げる担当児童が最後にメッセージを書きこむ ○○より	○読んだ友達が元気になるような温かいメッセージになるよう伝える。 ○静かな雰囲気の中で作業が行えるよう声かけをする。	はさみのり 色画用紙 色鉛筆 運動会の写真等 便箋 BGM
	○メッセージカードを回収し、裏返して相手へ返却、一斉に読ませる。	個別	○静かにメッセージカードを読む。	○メッセージに込められた気持ちを大切に読めるように声かけをする。	BGM
メッセージカードを読んで、どんな気持ちになりましたか？					
まとめ	○感想を交流させる。	一斉	○カードを読んで感じたことを発表したり、友達の意見に共感したりする。	○自分の長所や、それを見てくれている人がいることに気付かせる。 ○発表も「アイ・メッセージ」を意識させる。	

評価

友達から認められることで、自分や友達の存在を感じ、自他を大切に思う気持ちもてたか。